

簡易無線のデジタル化と利用拡大

参 考

従来の簡易無線局

- ・ アナログ式
- ・ 音声通信が利用主体



・ 運送業・工事現場等で利用

データ伝送や高度利用等のニーズの多様化等の需要の増加や周波数の逼迫が懸念

簡易無線局等に適したデジタル変調方式の導入

多様な
ニーズに対応

- ・ レジャー用途(高所・上空を含む)

狭帯域化により周波数の有効利用が図られ、トラヒックの増、チャンネル不足の問題を改善し、様々なシーンで利用可能に



- ・ データ伝送システム

データ伝送速度の向上により
新たな利用ニーズに対応



- ・ 短期需要(レンタル)用途

混信防止機能の付加により、レンタル制度の実現。イベントなど短期的又は急なニーズに対応

